

2015年

羊

迎

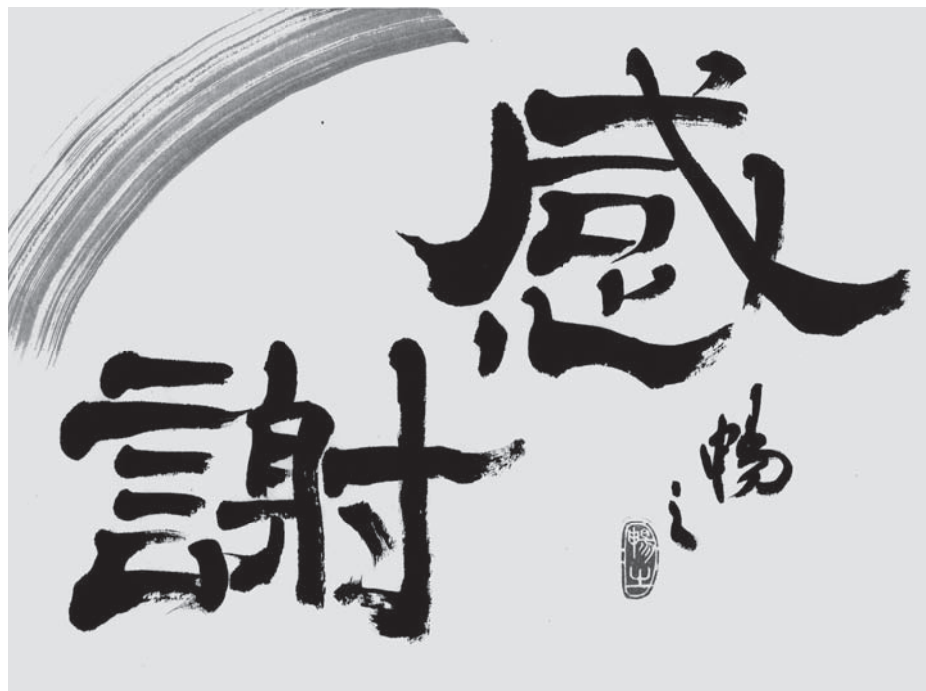
春

きのとひつじ
乙未
おつび

元旦

感謝

―六十年間のご支援に心を込めて―



明けましておめでとうございます。
昨年、会誌の発行をはじめ、諸行事等すべて順調に進展いたしました。十二年ぶりに参加者七百名を突破した席書大会、六年ぶりに開催し大盛況となった夏期講習会、作品寸法をやや小さく制限したにもかかわらず高レベルとなったペン字展が、心に強く残っています。これも偏に、ご支援ご協力下さった諸先生、会員の皆様のお陰と心から厚く御礼申し上げます。
さて本会は今年、創立六十周年という大きな節目を迎えました。半世紀以上も長く多くの方々に愛され続けてきたことをつくづく誇りに感じております。そして今日までに会を牽引して下さった先人の諸先生方のご尽力に、改めて深く敬意を表する次第であります。革命的ともいえるITの進歩に、文字を書く機会は減る一方ですが、反面「手で書く文字」の価値は高まっています。そして美しい文字は、永久に変わらない日本人の共通の憧れであります。この記念すべき年に、皆様とともに日本の文字の美しさを求めて精進してまいりたいと存じます。
倍旧のご支援ご指導を、よろしくお願い申し上げます。



会長
奥村 暢之



ひつじんかゆう
筆硯佳友を得る

明けましておめでとうございます。
誌友の皆様、昨年の諸行事には本当に温かいご協力を賜り誠にありがとうございます。
今年は色紙の言葉のように、記念すべき創立六十周年を心から祝いながら、誌友の皆様とご一緒に更に一步一歩、歩を進めてまいりたいと存じます。
新年早々から、第十回となる選抜名古屋展、毛筆コンクールと続きます。今年もまたこれらの行事一つひとつを丁寧にしかりと成功させるべく努力する所存ですので、皆様方の温かいご協力を衷心よりお願い申し上げます。



理事長
佐藤 碧山

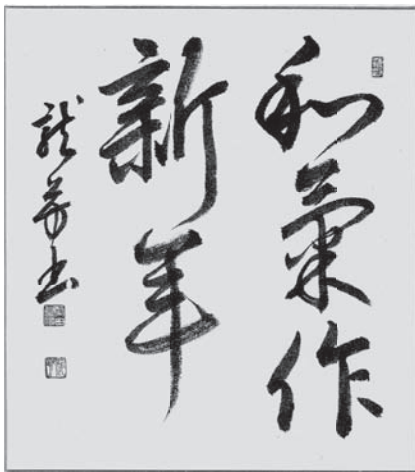


副理事長

岡田 龍芳

おめでとうございます。皆様には、さぞかし希望に輝く新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。昨年の行事の中でも、特に六年ぶりに開催された夏期講習会は、申込みが殺到して、急遽会場を広げたの大講習会になり、皆さんの熱心さに感銘いたしました。また恒例の秋のペン字展も、台風接近の中でも、多くの方々に参観いただき、大盛況裡に終える事が出来ましたのも、皆様のご協力のお陰だと感謝しております。

今年は未年、ひつじの諺に「羊質虎皮」があります。とらの皮をかぶったひつじのこと。いくら化粧で着飾っても心がみにくかったら、真に美しいと言えません。書道人として品格のある美しい書を求めて、皆さんと共に、六十周年の節目の年を、会の発展の為がんばっていききたいと念願しております。



和気新年を作す



副理事長

大宮 春兆



翔（かける）

あけましておめでとうございます。

本会も今年、創立六十周年を迎えました。慶賀の念で一杯です。人生五十年とうたわれた時代と比べれば、六十年は誠に長い年月です。戦後の荒廃した時代から今日に至るまで、高度経済成長、バブル崩壊、社会のIT化など様々な出来事がありました。その間、本会が今日の隆盛を見ることができたのも、会長先生をはじめ諸先生や全国に広がる誌友の皆様、たゆまぬ努力と相互の切磋琢磨があったからこそと思います。

時代は少子化を迎え、社会情勢も複雑さを増すばかりです。本会が一層発展するためにも、さらなる活動の活性化が欠かせません。

今後も誌友の皆様方と共に私も精進してまいりたいと思います。ご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



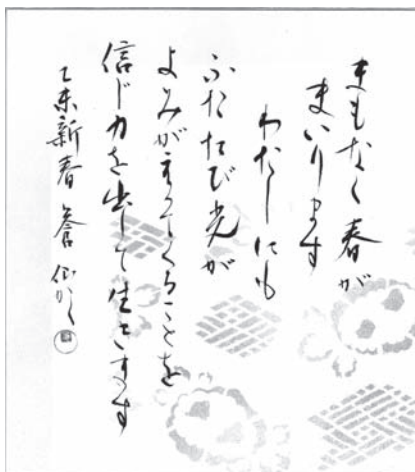
副理事長

荻田 蒼仙

新年おめでとうございます。皆様にも佳い年でありますよう念じております。

書道はとかく、展覧会、競書等で技術を競うことによって上達し肩書きがつく。それはそれで善しとして、書道人以外の皆様に関心と興味をもってそして楽しみ喜んで頂ける。即ち心を癒し元氣になって頂ける。そのような作品づくりを目指すには、平素どのような心がけて生活し、勉強し努力すればよいか。私自身の一年の課題にしたいと思っています。技術以外の何かが必要かと思っています。お呼びがあれば羊年の老人が参上し、皆様の温もりを頂きたいと思っています。地区講習会等どうぞお気軽にお誘い下さい。

今年も宜しくお願い致します。



第87回 全国書道誌上コンクール出品要項

左記のとおり毛筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

◆一般部（高校生以上）

一、出品区分 一科審査会員

二科審査会員（師範）
無鑑査（教範）

一 科（書範）準四段
二 科（三段）準初段
三 科（一級）新入

※出品区分は、一月号の成績を基準とする。

※本会の毛筆部に出品していない場合は、所属団体での段級、資格または書歴を明記の上、該当する区分に出品すること。

二、作品寸法

《一科審査会員一科》

条幅半切縦（136cm×35cm）

《二科・三科》※次ページ参照

条幅半切二分の一縦（68cm×35cm）

※小さい作品を貼り合わせたものは不可

一、作品内容 漢字・かな・調和体

※一般部は、作品に出品票を必ず貼付し、必要事項を記入した出品申込書と一緒に出品料を添え出品すること。（必要な書類は、予め各支局・支部に送付する。個人会員は本部事務局まで請求のこと）

◆教育部（中学生・小学生・幼年）

一、課題 自由。ただし書初めにふさわしい語句。（一月月例課題参考）

※中・二・三年の書体は行書に限る。

※十二月の検定試験の会友合格者は「会友」で出品すること。

※用紙 条幅半切四分の一（68cm×17.5cm）

一、出品料（一点につき）

●一般部 一科審査会員 四、五〇〇円

●教育部

二科審査会員	三、五〇〇円
無鑑査	三、〇〇〇円
一 科	二、五〇〇円
二 科	一、五〇〇円
三 科	一、五〇〇円
会友	六〇〇円
中学・幼年	五〇〇円

一、出品締切

平成二十七年一月二十四日（土）本部必着

二、送り先

〒509-15134 土岐市泉島田町一―三〇

大書心会全国書道コンクール係

一、審査

平成二十七年一月三十日（金）

午前九時半から セラトピア土岐・会議室

一、審査員

会長・認定審査員・及び八十人以上出品の団体責任者に委嘱する。

一、褒賞（※印申請中）

憲照記念賞（一科審査会員）・記念大賞・大賞・準大賞・会友特選（以上師範、会友を対象）・記念賞・会長賞※土岐市長賞※同教育長賞※同市議会議長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・大書心会奨励賞・理事長賞・師範会賞・理事奨励賞・特選・奨励賞・芽ばえ賞・優秀・秀作・入選・佳作

○全員に賞状、賞品を授与する。

○成績優秀な団体には、団体賞を授与する。

一、団体出品

5点以上まとめて出品の場合は団体扱いとする。特典もあり、その他出品者名簿が必要となるので、大書心会本部事務局まで申込むこと。※支局・支部には予め送付する。

一、表装について

○出品作品は原則として返却はしないが、表

装を希望する場合は、表装後返却するので、二月末日までに本部事務局へ申込むこと。（詳細は、支部長または本部まで）

●表装料（税込み・送料別）

条幅半切・半切二分の一

四、八〇〇円より

A～Gまで七種類あります。

半切四分の一

H、紙表装 一、四〇〇円

I、布表装 二、八〇〇円

一、会長賞受賞者の特典

●教育部で六段以下の受賞者は一段階昇格を認める。

●現在小四年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定する。

※いずれも発表月から昇格する。

一、特別昇級の特典

一般部・教育部とも毛筆部1級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。

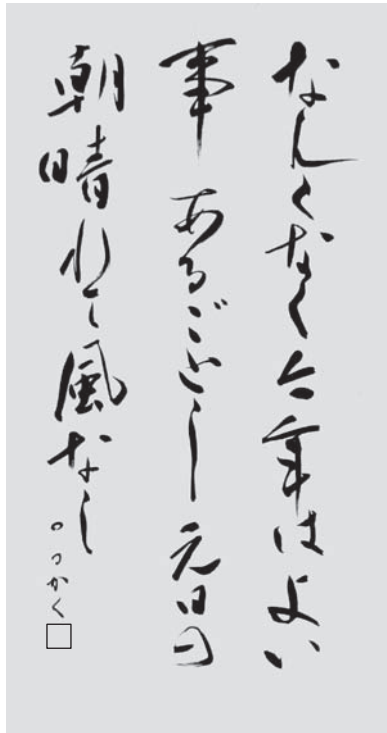
一、その他

○作品はすべて未発表のものに限る。
○一人何点出品してもよいが、特別賞受賞は一人一点とする。
○コンクール作品と月例競書を兼ねる事はできないので、それぞれに出品すること。
○一般部は、出品区分別に審査の上、各上位入賞者については、昇格制度に基づき、昇格または昇段級する。（内規に定める）
○出品料は為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか現金書留による送金に限る。（振替、その他は不可）
○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

二科・三科参考手本

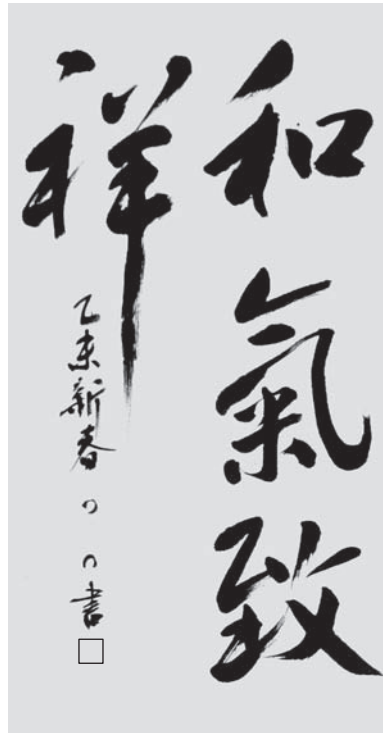
▶二科・三科は、半切2分の1サイズで出品して下さい。課題は自由ですが、下掲の参考手本によりご出品いただくこともできます。

なんとなく今年はいい事あるごとし
元日の朝晴れて風なし（石川啄木）



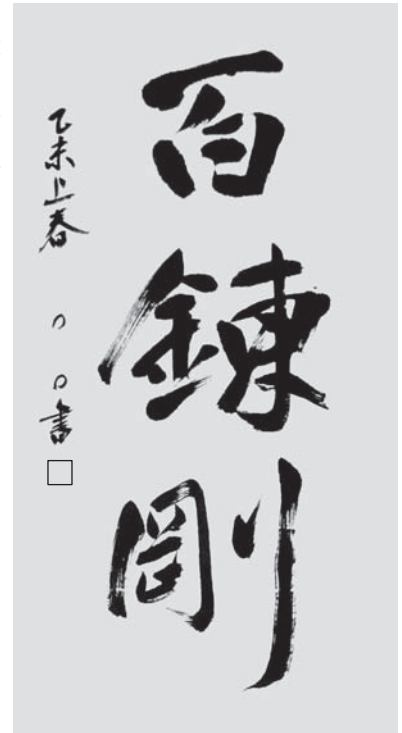
萩田蒼仙書

和気致祥



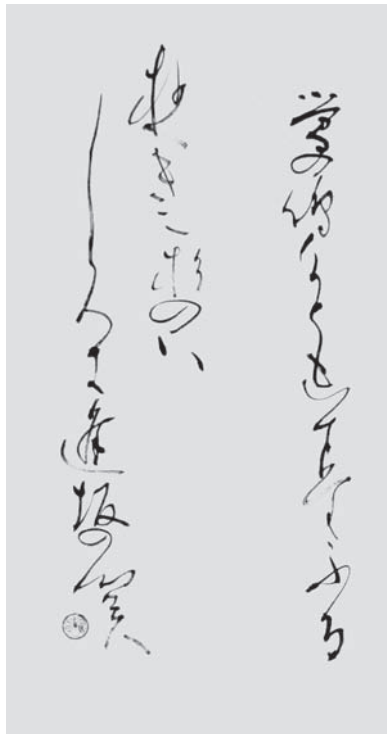
萩田蒼仙書

百鍊剛



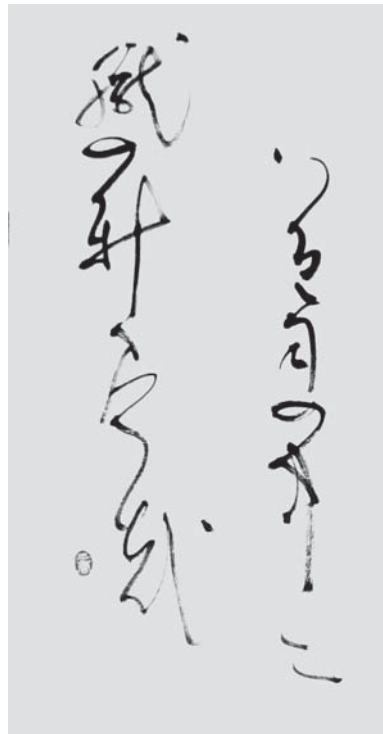
萩田蒼仙書

鶯の鳴けどもいまだ降る雪に
杉の葉しろきあふさかの関（太上天皇）



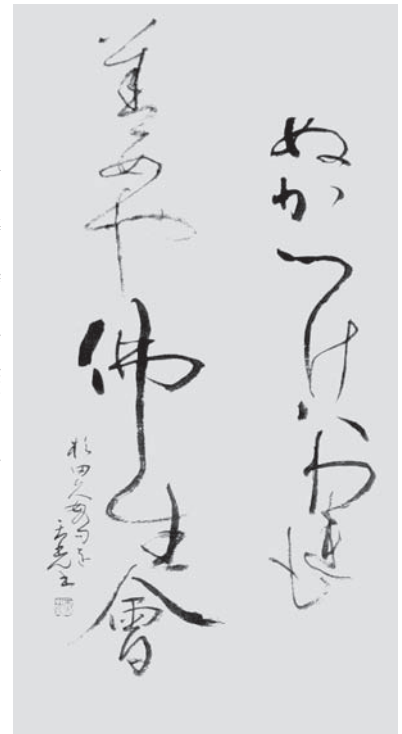
築瀬舟香書

春雨の中におぼろの清水哉（与謝蕪村）



築瀬舟香書

ぬかづけばわれも善女や佛生會（杉田久女）

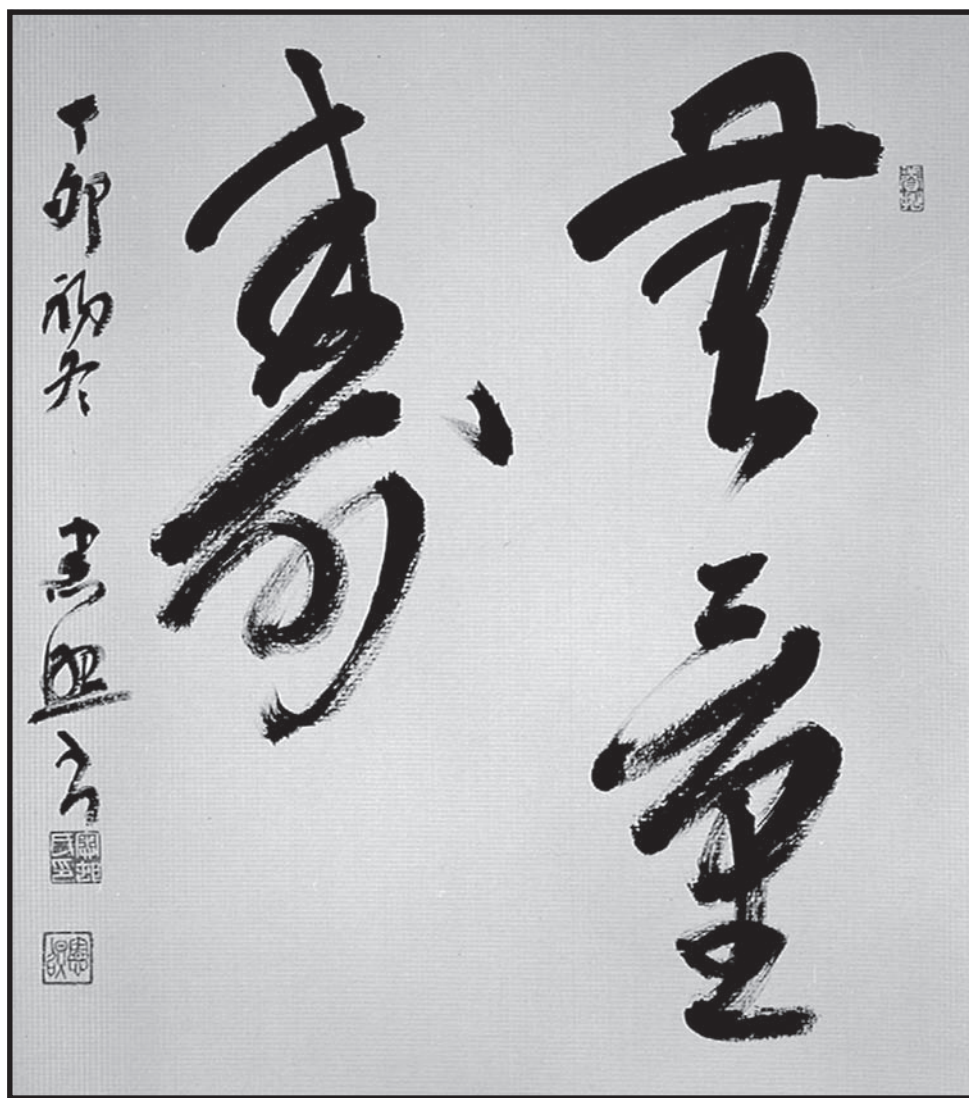


飯沼天光書

色紙を書く(1)

締切り 一月二十四日(必着)

奥村憲照先生書



〔読み〕無量壽

※丁卯は一九八七年の干支。今年は乙未です。
〔大意〕限らない寿命。

◎暮らしの中で一番身近で、親しみのある「書」といえば『色紙』ではないでしょうか。
◎家の玄関や応接間、お店や事務所など、至る所で様々な色紙を見かけます。

◎お祝いや記念にプレゼントしたり、揮毫を求められたりする機会も少なくありませんが、いざとなると、中々うまく書けないものです。

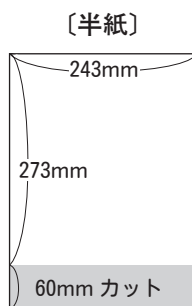
◎創立六十周年の今年は、奥村憲照先生の色紙作品を鑑賞するとともに、色紙の書き方を学びます。

◎色紙は特に、執筆者の個性が重んじられます。あまり手本にこだわらず、自己表現するつもりで自由に楽しんで書きましょう。

□作品の出し方

▼毛筆部Ⅱ左図のように半紙を六〇mmカットして書いて下さい。これが一般的に使用される大色紙のサイズ(二七三mm×二四三mm)になります。

※本物の厚紙の色紙はかさばるため、使用しないで下さい。(色紙練習用の薄手のものは可)



▼硬筆部Ⅱ右の大色紙を四分の一にすると、寸松庵色紙のサイズ(一三六mm×一一一mm)になります。このサイズの紙を作るか、B5判の用紙に枠を引いてお書き下さい。用具は自由ですが、太目の筆記具(フェルトペン・マツチ棒・割り箸等)がよいと思います。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

◎今月は行書。基本的な練習方法は、手本をまねて何度も書くことです。その際は正しい書き順で書く。書き順には「上から下」「左から右」など原則はありますが例外もあります。字書で調べるのが大切。

■教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

剛 毅 志 地 球 得

剛毅の志によりて
地球上何事にても
なり得うるべし

おか だ りゅう ほう
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

賢者長耳短舌持

短	長	賢
い	い	者
舌	耳	は
を	と	
持		
つ		

おお たに せい じょう
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆2月課題予告（行草または草書）
愛されぬは不幸なり
愛する事の出来ぬは
猶更に不幸なり
▼教範・書範Ⅱ行書
▼師範Ⅱ楷書

★剛毅の…（書体Ⅱ行書）
スマイルズ（一八三〇九四）
イギリスの著述家
よくスポーツの試合で、「勝ちたいと思
う気持ちの強い方が勝つ」という言葉を耳
にします。何事にも屈しない強い心があれ
ばどんな苦難も乗り越えられるに違いあ
りません。望む結果が出るとは限りませ
んが、この姿勢で立ち向っていくことが何
より大事なのです。

◆2月課題予告（行書）
仕事は
高貴なる
心の栄養である

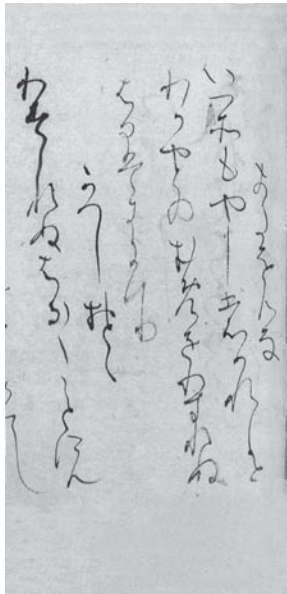
★賢者は…（書体Ⅱ楷書）
ヨーロッパのことわざ
人の意見に耳を貸さず自己主張ばかりす
る人をいさめる言葉です。同じ意味の名言
が世界中に数多くあります。
知恵のあるかしこい人は、静かにしてい
ると人が近くに集まってくることを知って
います。そしていい意見をたくさん聞いて
吸収し、よりよい成果を上げることができ
るのです。

一般部かな課題

師範・教範・書範

〔古筆参考〕

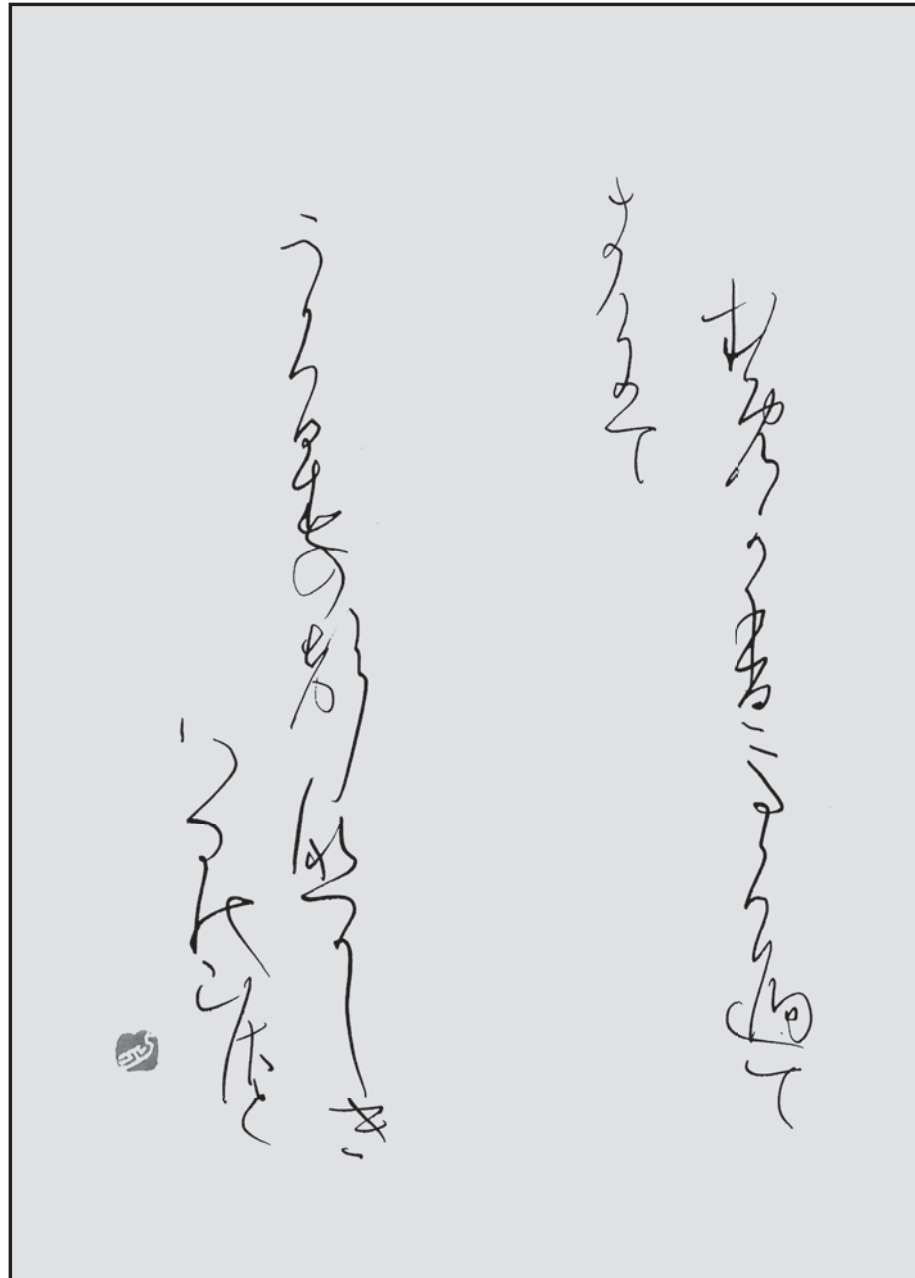
いちじょうせつしょうしゅう
一条摂政集



また、をむな
いづもやしもがれしかど
わがやどのむめをわすれぬ
はるはきにけり
かへし、おとし
わすられぬはるぐごとむ

締切り 一月二十四日（必着）

築瀬舟香書



「はじめに」
あけましておめでとうございます。
今年も皆様とご一緒に一条摂政集を学
びながら創作してまいりたいと思いま
す。

梅が香にたぐへて聞けばうぐひすの
声なつかしき春の山里

〔歌意〕梅の香のしみこんだ鶯が、
作っておいた苔の巣に寝に帰るので、
苔の巣は梅の香りでいっぱい匂ってい
ることだろう。

〔出典〕山家集（新潮日本古典集成）
〔解説〕



- ①と②、①と③、②と④、③と④、
それぞれ呼応。
- 行の密の動き大切。
- 作品の中の間大切。
- の方向大切。

◆2月課題予告

若菜摘む野辺の霞ぞあはれなる
昔を遠くへだつと思へば

実用文 のページ

はがき課題

おく だ み くも
奥 田 三 雲 書

締切り 1月24日(必着)

子供の成長のお陰か、食卓を囲み話し合う時間が多くなりました。たわいのない話題ばかりですが、家族の絆がより深まったようです。平穩な当たり前の繰り返しこそが本当の幸せだと感じています。

子供の成長のお陰か、食卓を囲み話し合う時間が多くなりました。たわいのない話題ばかりですが、家族の絆がより深まったようです。平穩な当たり前の繰り返しこそが本当の幸せだと感じています。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

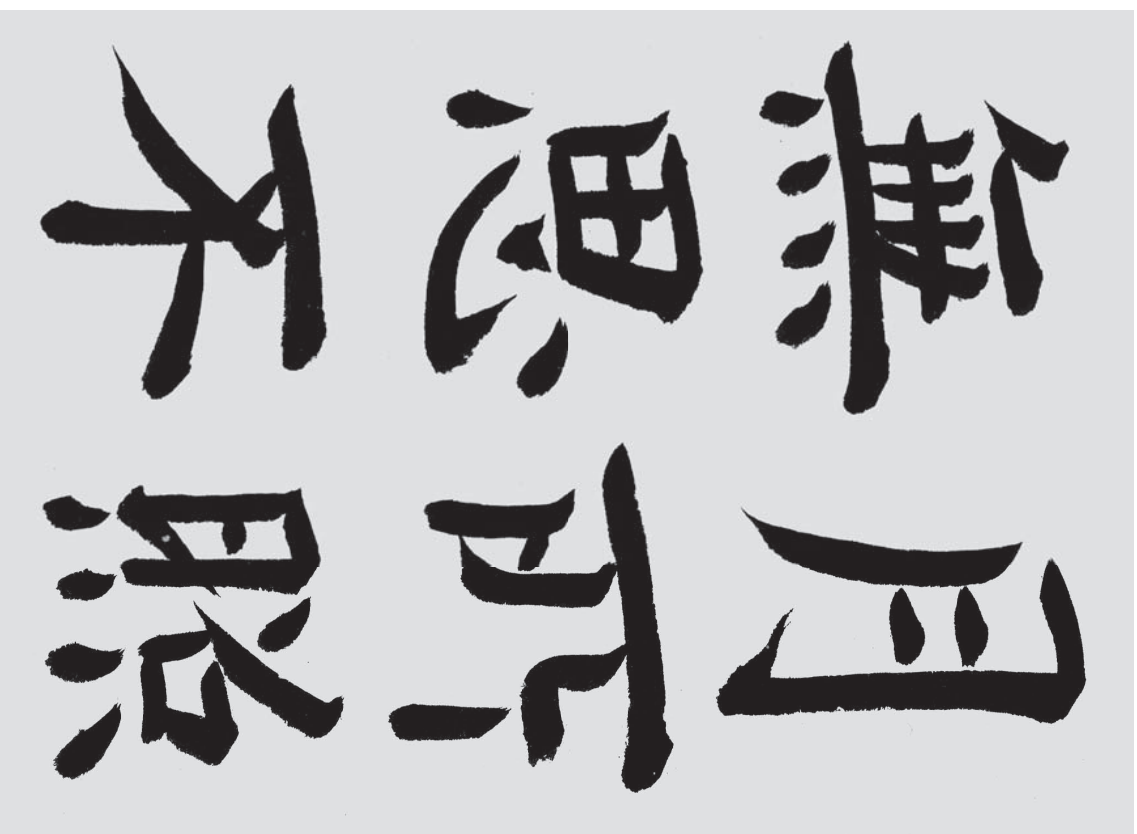
古典の文字造形を中心に、写實的に臨書することを形臨という。

長崎県雲仙市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 1月24日(必着)



準初段から師範まで
奥村暢之 臨



新入から1級まで(楷書)
須田一葉 書

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633） 〔筆者〕虞世南（558～638）

〔読み〕月の照らす所、思いて（服せ）ざるは無し

〔読み〕和風八方に被^{おほ}う

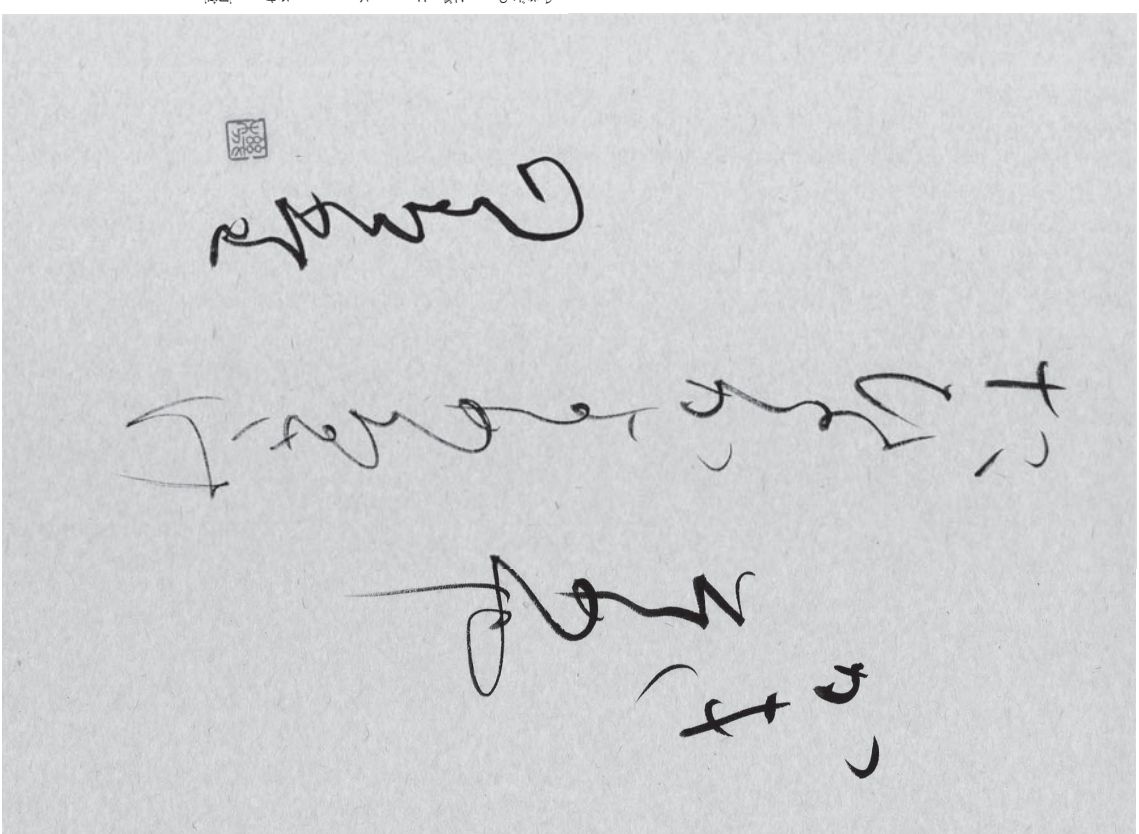
〔大意〕のどけき風が国の八方へ吹きあまねく及ぶ。

月 所 照 無 思 不

一般部毛筆かな課題

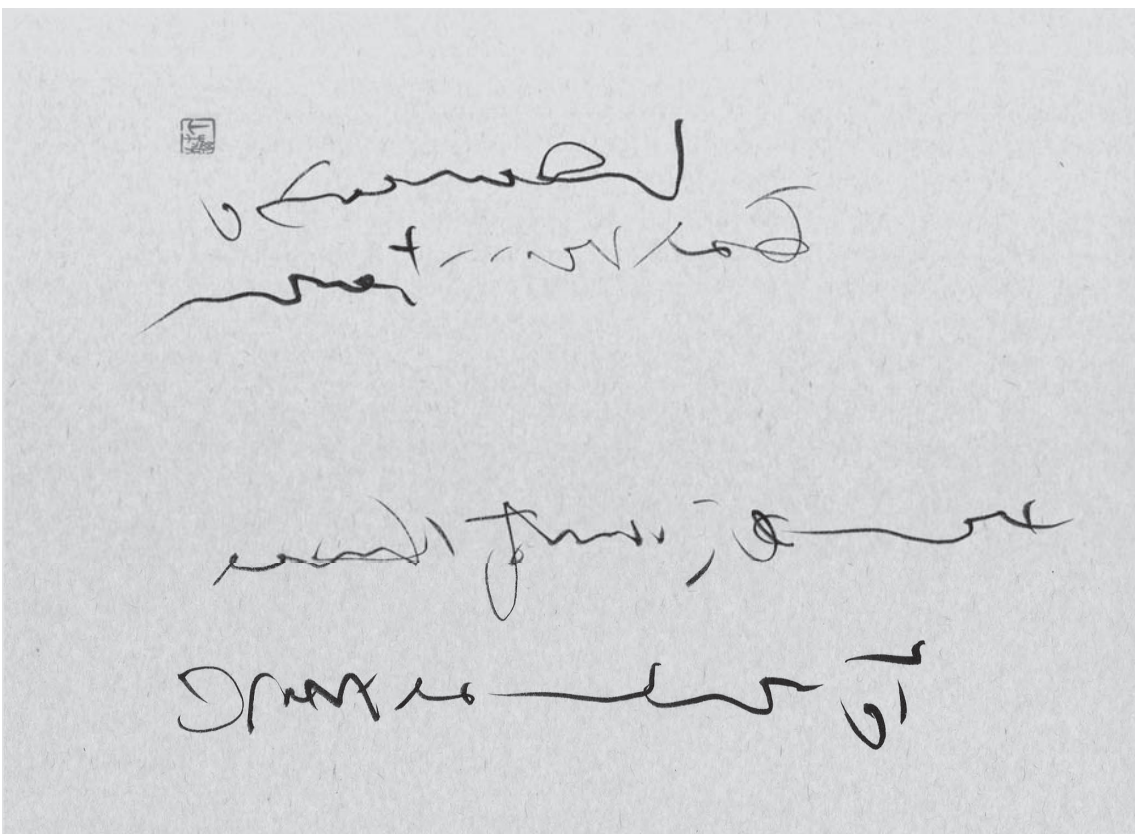
締切り 1月24日(必着)

新入から1級まで



浅井 磯山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

書初めや旅人が詠める酒の歌

【出典】上村占魚

【何意】

今年の書初めには旅人の詠んだ酒の歌にしたというのである。『万葉集』には「太宰帥大伴卿讃酒歌」十三首が載っている。

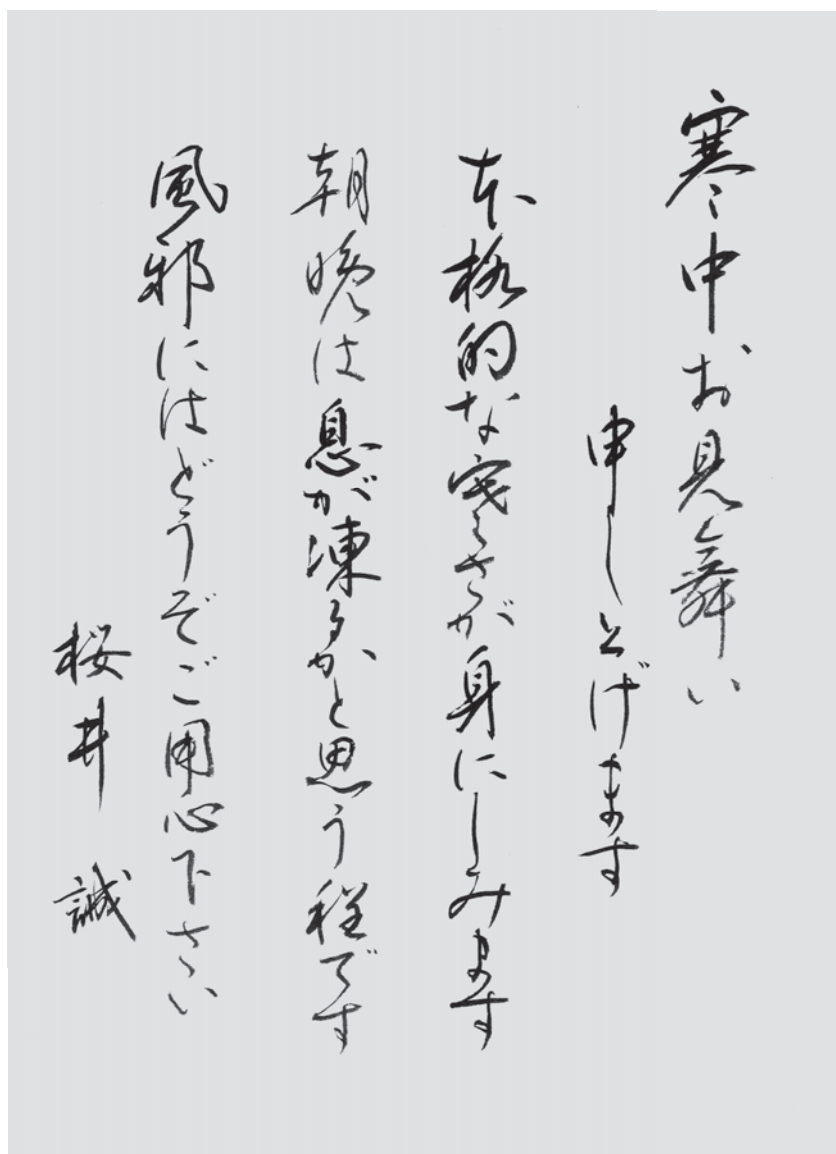
【出典】大伴家持

【歌意】

新しい年のはじめは、いつの年もこのように雪を踏ふみならして、とこしえに太平でありたいことだ。

阿多志 新しき年のはじめは、いつの年にも
雪踏み平し當年可 かに可
ゆ 雪踏み平し當年可 かに可

一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

樋田玲華 書

一般部毛筆条幅課題



締切り 一月二十四日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

萩田蒼仙 書

桃花帯雨濃

〔大意〕桃の花がしつとりと雨に濡れて色が鮮やかに見える。のどかな山中の光景。初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕例年通り今月は五文字です。字数が少ないと中腰かあるいは立って書く練習も。技術の追求は大切ですが、見て頂く人の立場に立って、いつまでも見ていたいような作品づくりも考えてみましょう。

寒中お見舞い

申し上げます

本格的な寒さが身にしみます

朝晩は息が凍るかと思う程です

風邪にはどうぞご用心下さい

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

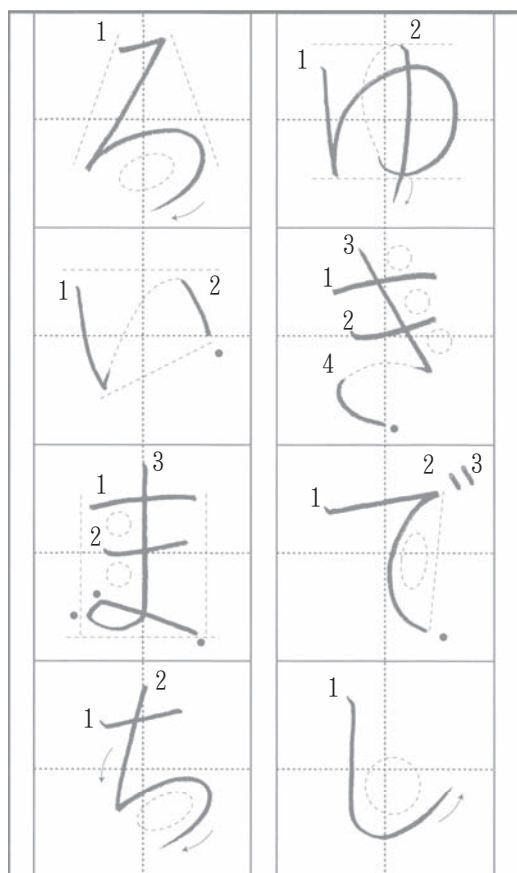
〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

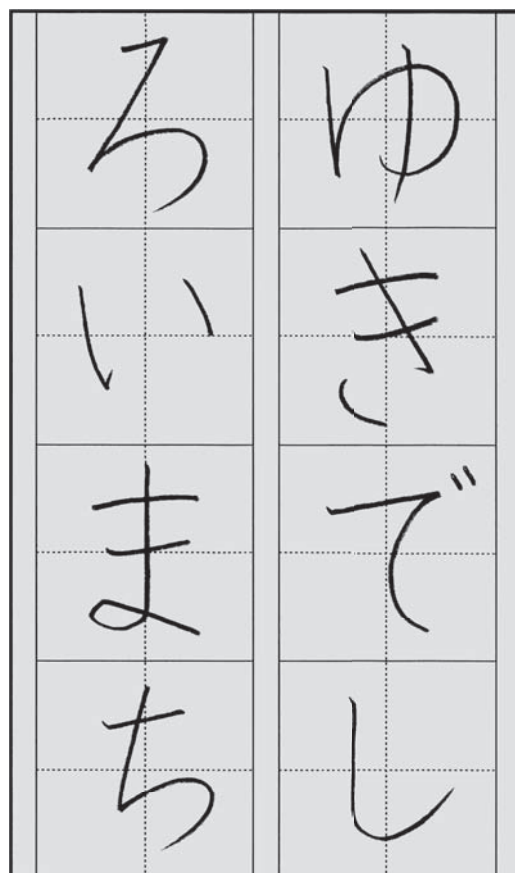
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

へようぐく自由(黒色にかざる)



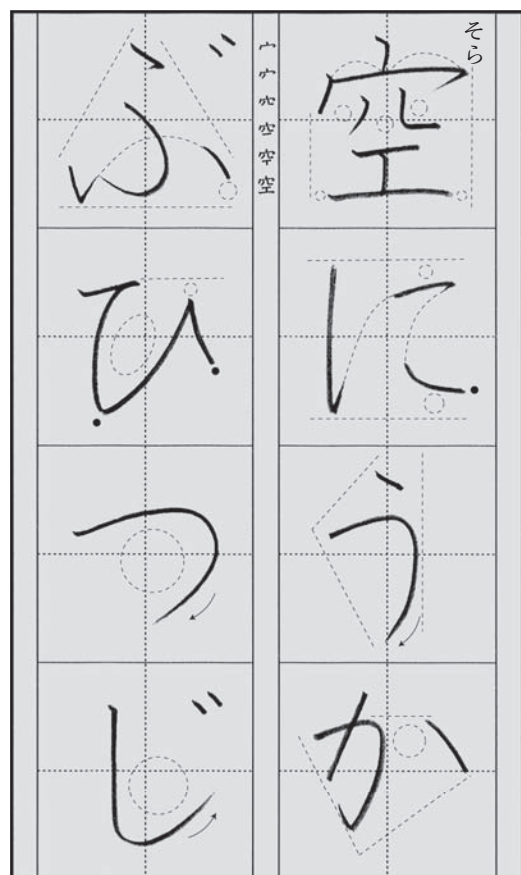
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

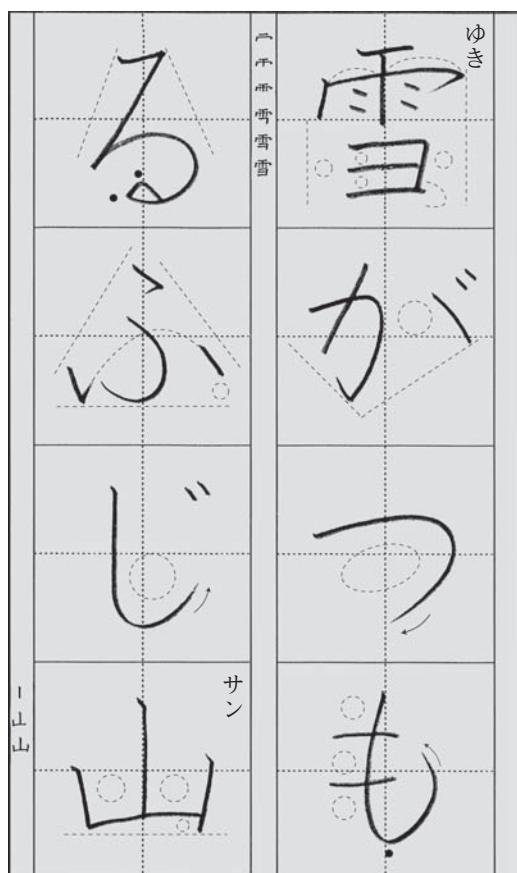
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



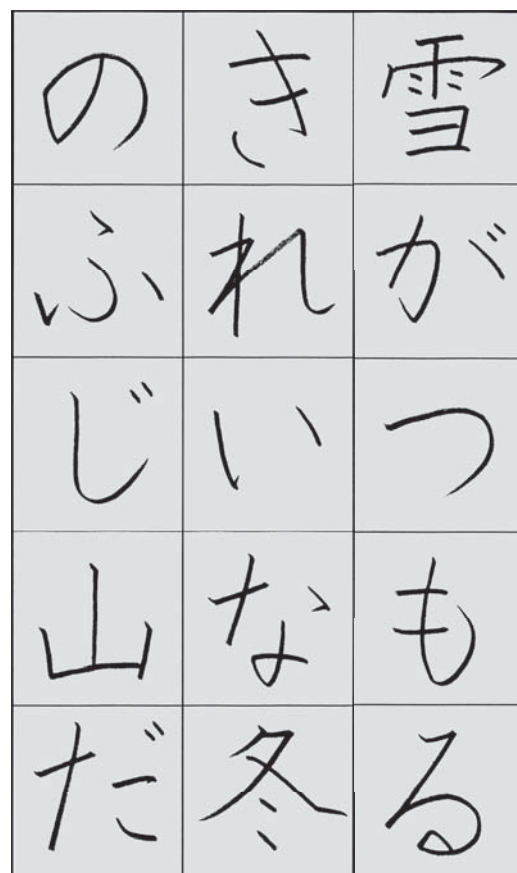
小
一
年

準初段以上

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

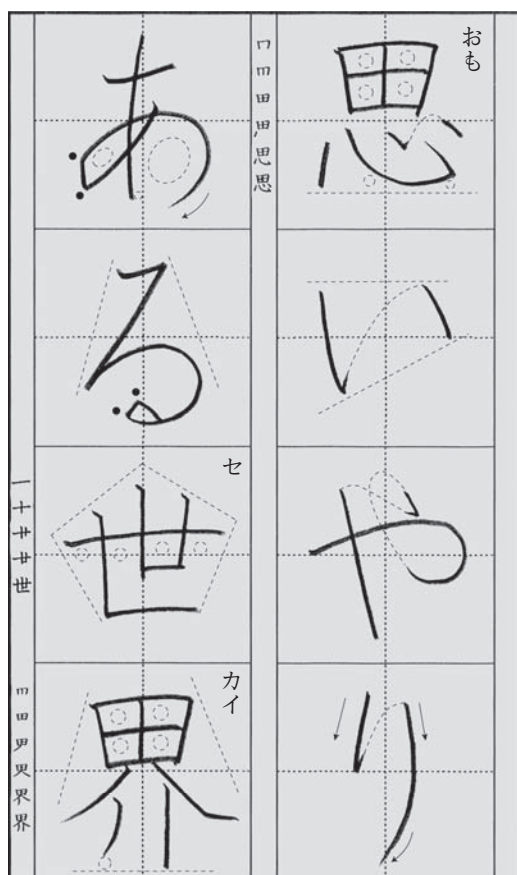


新入1級

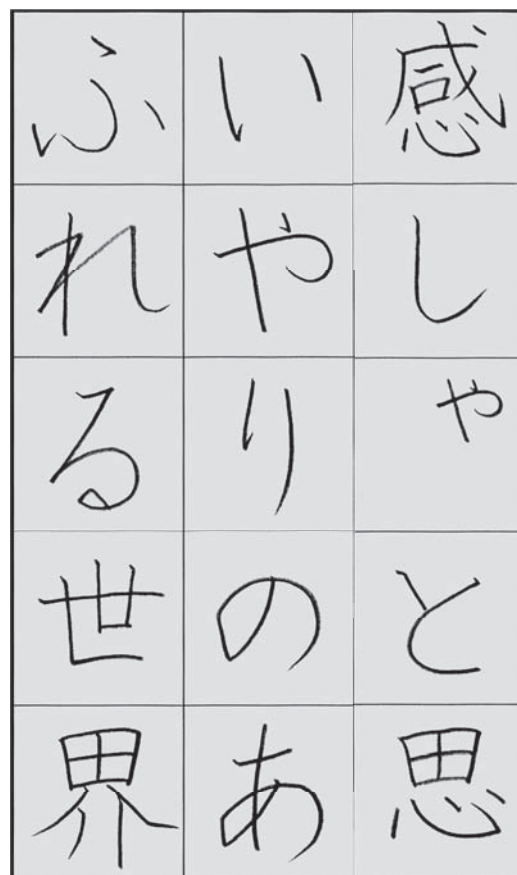


小二年

準初段以上



新入1級



小三年

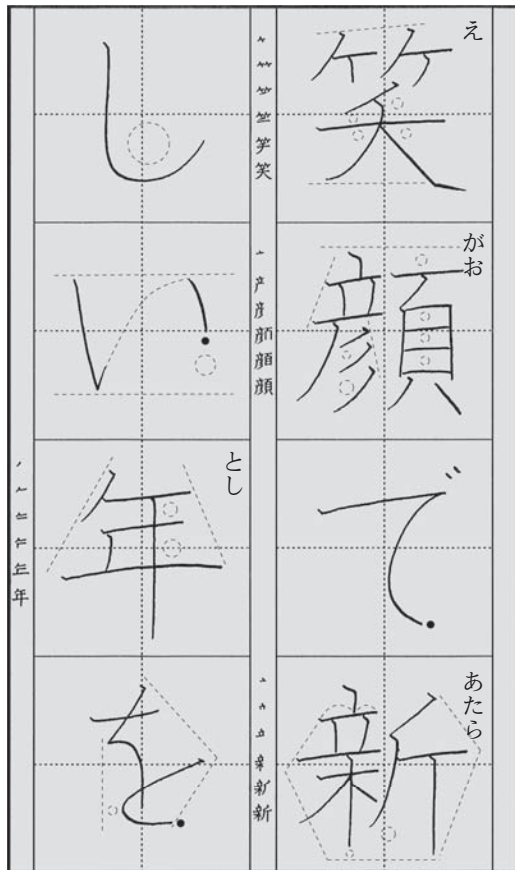
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

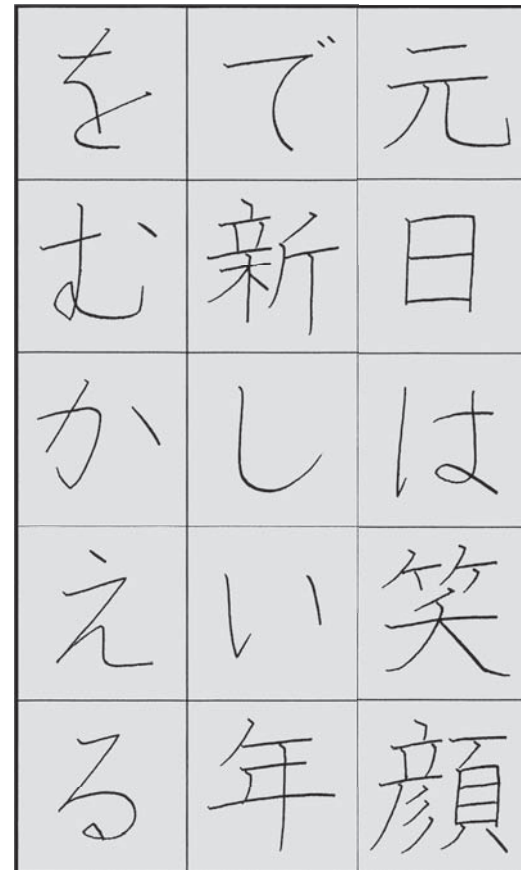
教育部硬筆課題

しめきり 1月24日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

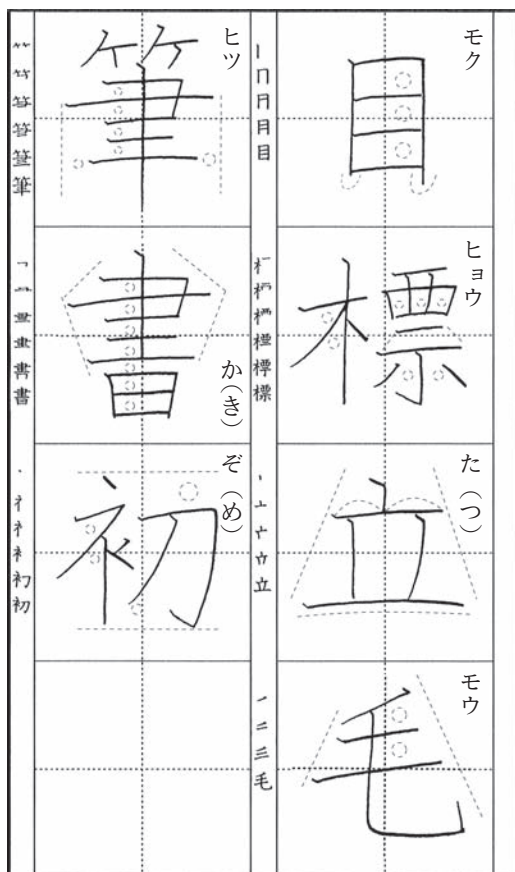


新入1級

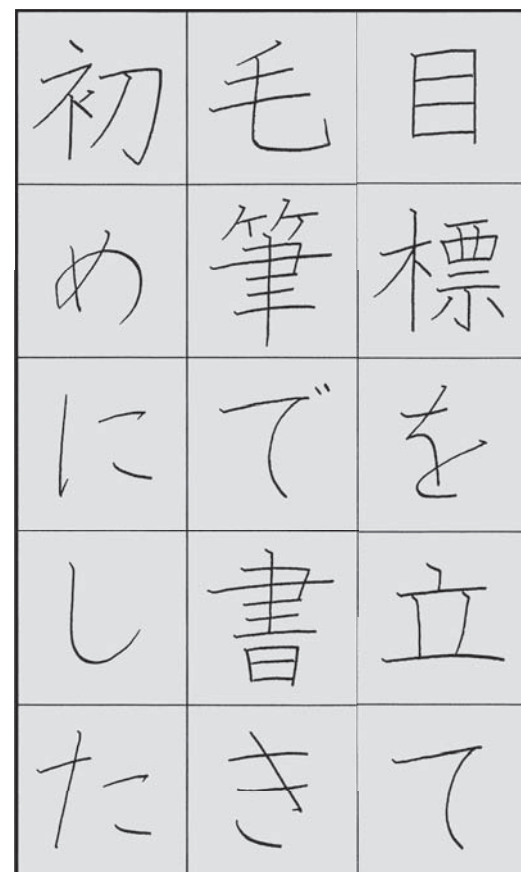


小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)



小五年

(全員)

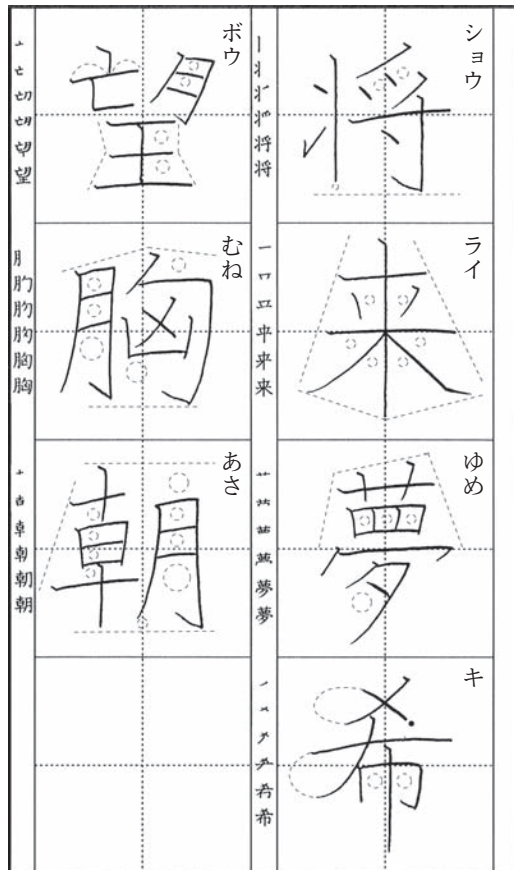
小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上 岡嶋桂川書

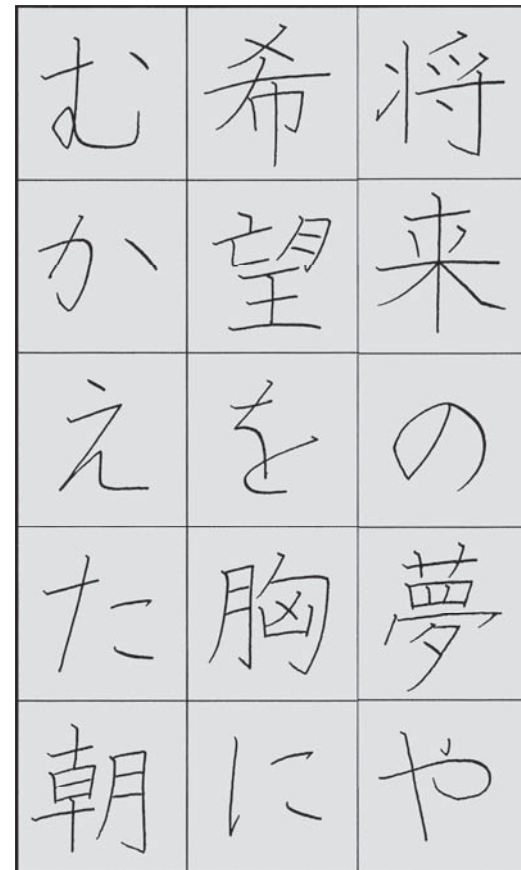
教育部硬筆課題

しめきり 1月24日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)



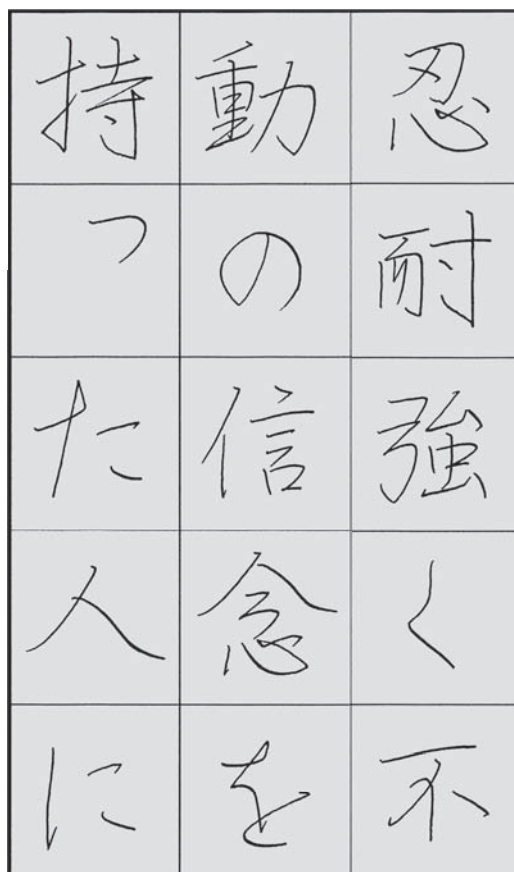
解説(よく見て習いましょう)



小六年

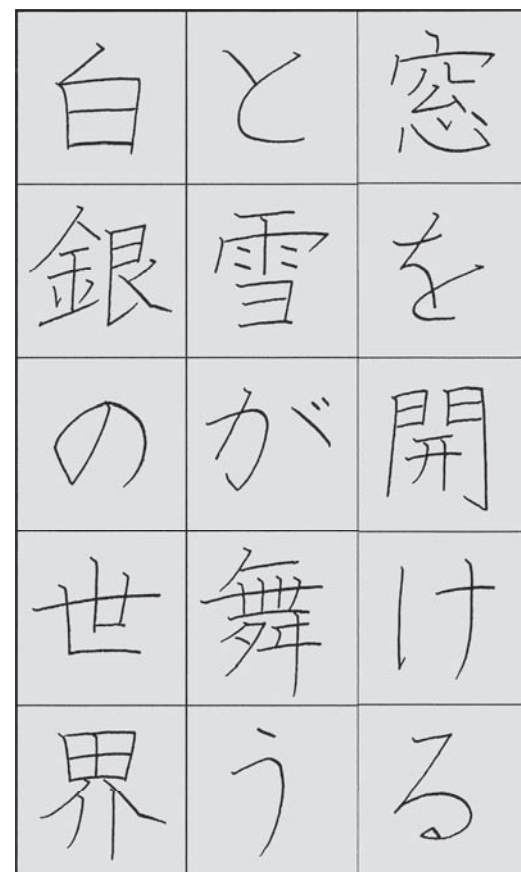
(全員)

◎お手本はつけペン使用



中二・三年

(行書)



中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 しょうむらのりか 庄村紀香 書

丸 まる	ね	庭 にわ	犬 いぬ	雪 ゆき
く	こ	か	は	や
な	は	け	よ	こ
る	こ	回 まわ	ろ	ん
	た	り	こ	こ
	つ		び	
	で			



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 1月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 しみずちせん 清水智泉 書

初 はつ	縁 えん	朝 あさ	美 うつく	富 ふ
夢 ゆめ	起 き	日 ひ	しく	士 し
を	の	が	輝 かがや	山 さん
見 み	良 よ	昇 のぼ	いた	か
た	い	る		ら



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



きょういくぶもうひつ か だい
教育部毛筆課題

しめきり 1月24日(必着)

小 二 年

小 一 年

よ う 年



たま き しょう か
玉 樹 小 華 書



たま き しょう か
玉 樹 小 華 書



たま き しょう か
玉 樹 小 華 書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

教育部毛筆課題

しめきり 1月24日(必着)

小 五 年

小 四 年

小 三 年

書き初め

小五

みずのこうちく
水野香竹書

新しい年

小四

みずのこうちく
水野香竹書

思いやり

小三

みずのこうちく
水野香竹書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

教育部毛筆課題

しめきり 1月24日(必着)

中二・三年

中一年

小六年



おく むら のぶ ゆき
奥村 暢之 書



おく むら のぶ ゆき
奥村 暢之 書



おく むら のぶ ゆき
奥村 暢之 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

短期特別課題優秀作品

出品数 硬筆 十八点 毛筆 一六二点

松下 由美

秋雨帯虫聲

原田 香龍

秋雨帯虫聲

村井 勝子

秋雨帯虫聲

吉田 良子

秋雨帯虫聲

渡辺 圭子

秋雨帯虫聲

澤 洋子

秋雨帯虫聲

洋子

▼半切四分の一に書く(10)

選評 奥村 暢之

▼半切四分の一に書くコーナーも第十回となり、作品のレベルが安定してきた。時々ハツとするような高格の書に出会うことがある。かなりベテランの方にも出品して頂いているようである。

▼落款印の有無、大小は様々で、丁度半切四分の一のサイズに合う印を持ち合わせていない人が多いようだ。費用のかかることゆえ無理もいえないが落款印は作品を締めくくる重要な要素。落款(署名)に合わせたサイズの印を用意して頂ければと思う。

表紙解説

【読み】羊(甲骨文)

莊子に云う 読書亡羊、以(目)て自戒と為す

神谷 葵 水 先生 書

【解説】『莊子』の外篇・駢拇篇に見える。羊飼いが読書に熱中していて羊をとり逃してしまった故事である。自戒としたい。

編集後記

▼光陰矢の如し：創立六十周年を迎えての率直な感想である。私も今年で還暦を迎える。思い起こせば小学生の頃の日曜日。狭い我が家の玄関にビッシリ並んだ子供のくつ、二階のけいこ場にバタバタと駆け上がる足音、子供たちの喧嘩、元気に指導する父の姿：幼い頃の記憶はかえって鮮明である。この頃から会はずにいるんだと思うと少々感傷的になる。父は会の未来にどんな夢を描いてきたのだろう。そして今日までどれほど多くの方に出会い、支えられてきたことか。

▼改めて深く感謝申し上げるとともに、今後ともおつきあいのほど、どうぞよろしく。

(暢)

認定証交付について

■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を随時交付しております。ご希望の方は、段級位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添えて本部事務局までお申込み下さい。

認定料

◆一般部(硬筆・毛筆とも、一枚につき)

・書 範……………一〇、〇〇〇円(〒五〇〇円)

・段 位……………二、〇〇〇円(〒二〇五円)

・級 位……………一、〇〇〇円(〒二〇五円)

※書範は額入り、他は筒入り。

◆教育部(硬筆・毛筆とも、一枚につき)

・準会友……………一、〇〇〇円(〒八二円)

・段 位……………五〇〇円(〒八二円)

・級 位……………三〇〇円(〒八二円)

※教育部の認定証は、A4判に変更しました。

※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお申込み下さい。

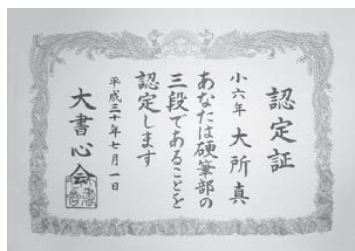
■会友認定料……………二、〇〇〇円

■師範・教範免許料……………三五、〇〇〇円

(いずれも合格時納入)



〔例〕一般部硬筆規定



〔例〕教育部硬筆

B4判

A4判

師範試験受験要項

「師範試験」を左記のとおり実施いたします。有資格の教範の方は、積極的に「師範」を目指してチャレンジして下さい。

記

受験資格 (1)教範としての書歴が二年以上の人。

(平成二十四年十二月までの検定試験等で教範に登第した人)

(2)平成二十六年の一年間に、月例競書を六カ月以上出品した人。

(硬筆・毛筆別)

(3)硬筆部≧平成二十五年、二十六年のペン字展で一回は出品した人。

毛筆部≧平成二十六年、二十七年一月の毛筆コンクールで一回は

出品した人。

※受験資格の右記三項目をすべて満たしていないと

受験できません。

試験日 平成二十七年二月三日（火）に問題を受験者宛に発送します。自宅

解答の上、二月二十日（金）までに本部へ返送のこと。

受験料 一部門 五、〇〇〇円

※受験は、硬筆部か毛筆部の一方に限ります。

試験内容 硬筆部≧自運・理論

毛筆部≧自運・臨書・理論

申込み 受験申込書を、本部事務局へ支局・支部長先生を通じて請求し、本

人直筆の申込書を、平成二十七年一月十四日（水）までに受験料を

添えてお送り下さい。

なお、本人からの直接の申込みも受付けますが必ず支局・支部長

先生か、これまでの師匠の了解を得てお申込み下さい。

成績発表 三月五日（木）ごろ、支局・支部長先生、並びに本人に文書にて通

知します。

文部科学省後援

書写検定試験

主催 財日本書写技能検定協会

この試験に合格すれば、左のとおり、生涯を通じて大変役立ちますので、ぜひ受験されますようお勧めいたします。

〔要旨〕

○合格すれば資格が得られ、特技として履歴書に書け、就職、進学に有利である。

○1級に合格すれば指導者となる。

○中学校では合格者に対し、高校進学時の内申書に記入出来る。

○内容も国語表記などがあり、国語の力もついて、高校入試にも役立つ。

日時 二月一日（日）

午前十時から

※集合は九時半までに。

硬筆・毛筆のどちらか一方を受験して下さい。

会場

大書心会本部（予定）

受験料

硬筆

毛筆

5級	一、一〇〇円	一、三〇〇円
4級	一、四〇〇円	一、六〇〇円
3級	二、一〇〇円	二、六〇〇円
2級	三、一〇〇円	三、六〇〇円
準1級	四、五〇〇円	五、〇〇〇円
1級	五、五〇〇円	六、〇〇〇円

申込み 一月二十一日（水）までに、大書心会本部へお申込み下さい。

※会場は受験者数により決定します。お申込み後、改めてご確認下さい。

教育部2月締切り分課題予告（・印は級位課題）

中2・3	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	幼年	
粉骨碎身を誓つて生徒会へ立候補 (行書)	凍える様な早朝に牛乳を配達する (行書)	五年の期間保証された製品を探す	市民会館に集まって講演を聞いた	料理の仕上げに焼きのりを散らす	社会で出た問題をよく調べ答える	天気よほうは当たり朝から晴れた	たからばこにきれいな石をいれる	のびたつめをきる	硬筆
粉骨 碎身 (行書)	牛乳 配達 (行書)	期間 保証	市民 会館	仕上 げ	答え る	天気	はこ	め	毛筆